

塗布無滴農POフィルム

イースター[®]



張って納得
使って納得の

納得
納得
フィルム



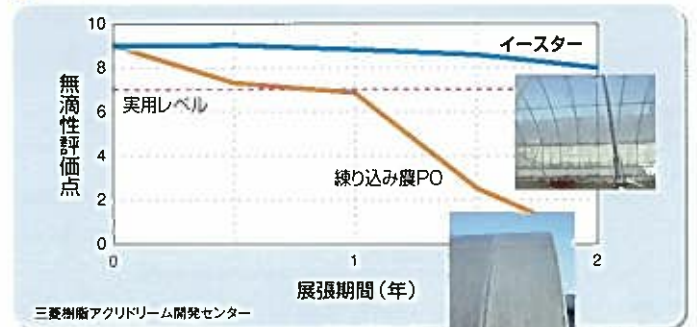
農POフィルムの常識を塗り替えて新登場。張って納得・使って納得の塗布無滴農POフィルムです。

- ★ スッキリ驚きの透明感。フィルムの「スッキリ感」を比べてください。バツグンの透明性を実現しました。
- ★ 使用期間中、無滴性能が持続。無滴剤をフィルム内面にコーティング。練り込み製品と無滴の持続を比較してください。

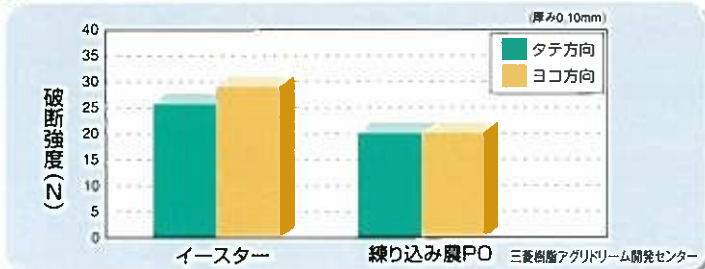
★ 透明性 (の比較グラフ)



★ 無滴性



★ 引張強度の比較



● イースター[®] 規格

性質	厚さ (mm)	巾 (cm)					長さ (m)
防霧 塗布無滴 透明	0.075	135	150	185	200	*注 (カット加工)	
		230	270	300	330		
	0.10	430	460	500	540		
		630	660	700	740		
		840	870	900	960		

*注: 製品の長さ: カット品については、1mごみでお受けいたします。最寄りの販売店にご相談ください。

病虫害の発生を抑制する紫外線カットの塗布無滴農POフィルム

イースター® UVカット

イースターの特長にUVカットの性能をプラス! 施設園芸の総合防除に、グ〜ンとお役に立ちます。更に透明感と無滴効果が長続き、農POフィルムの常識を塗り替えたフィルムです。

UVカット効果

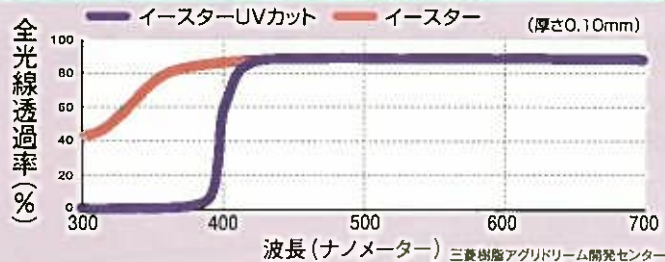
- **虫害が少なくなります。**
紫外線をカットするので、スリップス・アブラムシ・コナジラミなどの害虫の活動が鈍くなります。
- **病害を大幅に抑えます。**
灰色カビ病・菌核病は、紫外線をカットすると、菌糸の状態ですぐに生育が止まるので被害は軽くてすみます。
- **病虫害の抑制効果があるので、少農薬栽培につながります。**
- **作物の生育がよくなります。**
葉や茎の生育を抑える紫外線をカットするので、作物の生育が促進されます。
- **マルハナバチ利用について。**
ハチの種類・固体差、ハウスの構造、気象条件、農薬の影響、花粉量等によって、飛翔に差が出る場合があります。

イースターUVカットの特長

- ★ 紫外線、カット性能を付与しました。しかも、紫外線カット性能長続き!
- ★ スッキリ驚きの透明感!
- ★ 優れた無滴性!
独自の塗布技術が、使用期間中無滴性能が持続します。



光線透過特性



●イースター® UVカット 規格表

性質	厚さ (mm)	巾 (cm)								長さ (m)			
防霧	0.075	135	150	185	200	230	270	300	330	400	430	460	*注 (カット加工)
塗布無滴		500	540	600	630	660	700	740					
透明	0.10	800	840	870	900	960	1000						
UVカット													

*注・製品の長さ:カット品については、1mさみでお受けいたします。最寄りの販売店にご相談ください。

お願い

出船コートされたパイプやハウス部材に、フィルムが貼りつくことがあります。万一貼りついた場合は、フィルムが貼りついた部分を濡らして少しずつつはがしてください。

お願い

PO系フィルムは、温度による伸縮性があります。低温時の伸展は、高温になるとフィルムが伸び、バタつきます。その際は、増締めを行ってください。



注意

◆塗布無滴農POフィルムについて

- ① 塗布無滴のフィルムは、ヌレ始めにガラスのように一時的に細かい水滴が付着して曇ることがあります。水滴が流れ始めるまでの過渡的な現象であり、無滴性能は低下していません。
- ② フィルムのシワ・たるみをとるようにお張りください。塗布無滴は、フィルム裏面を流れる水滴の量が多いため、ハウス内への水滴の落下の原因となります。
- ③ ハウスバンドは、こすれによる破れの発生や水滴落下の原因となります。
- ④ 濡れたまま巻上げ・たし上げなどで長期間放置すると、塗膜どうしがくっつくことがあります。
- ⑤ 長期間、保管するときは、フィルムをよく乾燥させてください。

◆イースター、イースターUVカットに関する注意

- ① フィルムには、表と裏があります。フィルムに印刷された文字がハウスの外側から正しく読めるようにお張りください。
- ② フィルム内側の無滴面を強くこすらないでください。特に伸展時に引きずらないでください。無滴塗膜表面が傷つき、すぐれた無滴性が損なわれることがあります。
- ③ ハウス内外での硫黄燻蒸、硫黄および硫黄系薬剤の散布を避けてください。フィルムの劣化を早めることがあります。
- ④ 高温時にフィルムどうしが熱融着することがあります。保管は、直射日光を避けてください。
- ⑤ この製品は絞り機を使用した場合、性能が低下することがあります。
- ⑥ 伸展の際、製品と同送の「上手にお使いいただくためのおねがい」を必ずお読みください。

◆UVカットに関する注意

- ① ナス栽培とミツバチを利用する栽培には使用できません。
- ② 病虫害に対する効果は抑制効果であり、殺虫・殺菌効果ではありません。作物の状況に応じた適切な防除作業を行ってください。
- ③ 生育が旺盛になることがあります。草勢に見合った肥培管理を行ってください。
- ④ 地域やハウスの使用条件により、UVカット持続性に違いが発生することがあります。

◆UVカットフィルム下でのマルハナバチ利用について

- ・ハチの種類・個体差、ハウスの構造、気象条件、農薬の影響、花粉量等によって、飛翔に差が出る場合があります。詳しくはマルハナバチメーカーにお問い合わせください。

*この製品の内部は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

取扱店

三菱樹脂アグリドリーム株式会社

本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビル TEL 03-3279-3241 FAX 03-3279-6757